

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

8月22日発行

Vol.368

さんじょうライフ

皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。



8/12



南相馬市HP「フォトレポ」から

おだか夏祭り

おだか夏祭りが浮舟文化会館で開催され、帰省した人や地元住民らでにぎわいました。



©City of Minamisoma

© City of Minamisoma



2ページをご覧ください。

目次

●南相馬市HP「フォトレポ」から

- ・おだか夏祭り ----- 2

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 3
- 浪江町 ----- 8
- 双葉町 ----- 12

●新潟県

- ・県外避難者の受入状況 ----- 11

●JR東日本水戸支社

- ・常磐線双葉駅橋上化および自由通路新設工事の着手について ----- 15

●交流ルームひばり通信

- ・8月・9月の「ひばり」 ----- 16



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

8/12 日

おだか夏祭り

おだか夏祭りが浮舟文化会館で開催され、帰省した人や地元住民らでにぎわいました。

特設ステージではダンスや太鼓の演奏、お笑いライブなどが繰り広げられたほか、盆踊りも行われ、浴衣を着た市民らが踊りの輪を広げました。

会場そばの相馬地方広域消防南相馬消防署小高分署前の駐車場では、小高区でまちづくり活動を行う高校生グループLLO（ライブ・ライズ・オダカ）が「おだか水祭り」を開催しました。



© City of Minamisoma

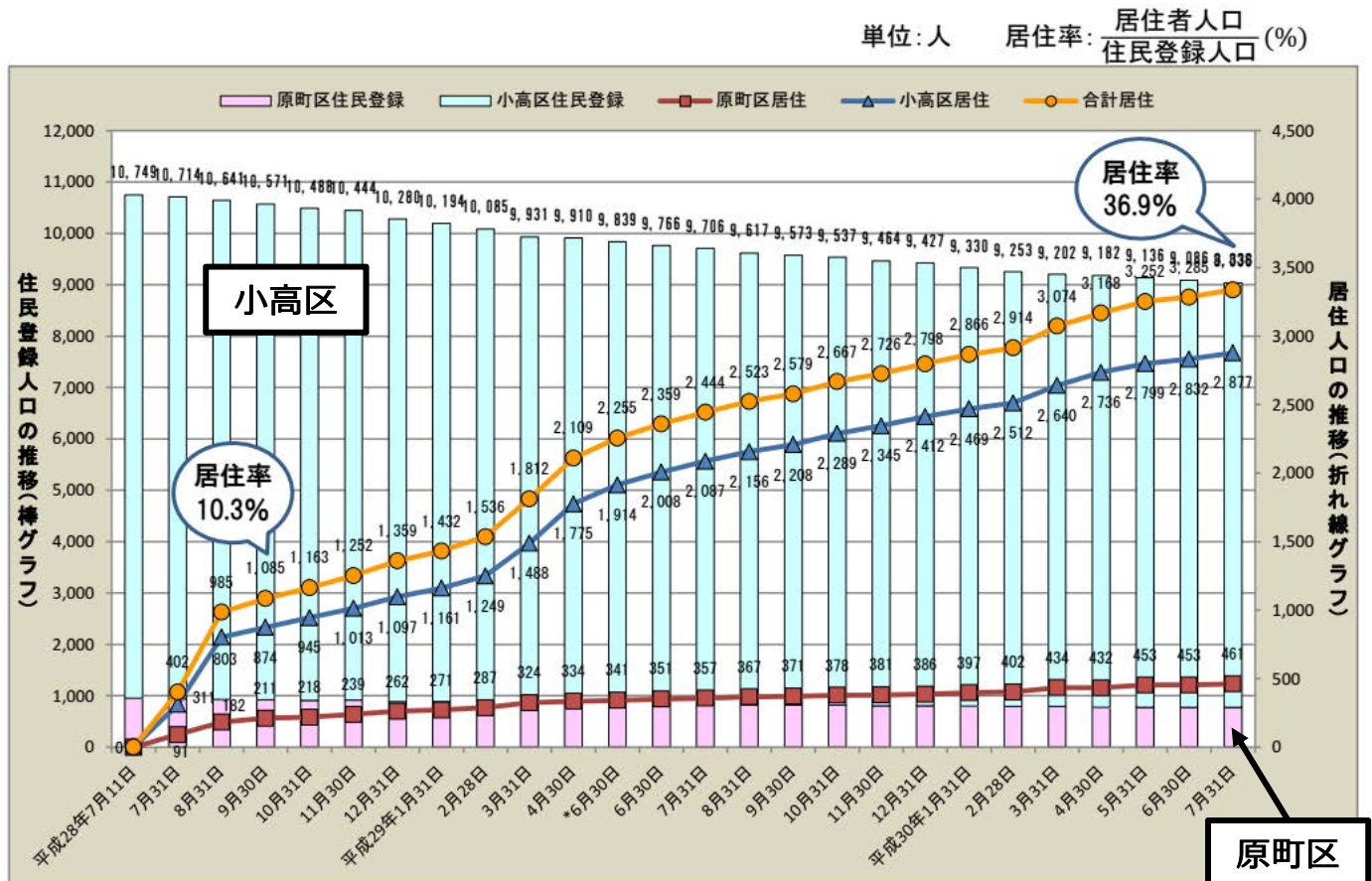


南相馬市からのお知らせ

旧避難指示区域内の住民登録人口と居住人口の推移

7月31日現在

旧避難指示区域内の小高区および原町区の居住人口は、平成30年7月31日現在で3,338人となり、同区域内の住民登録人口(9,036人)に占める居住率は36.9パーセントになりました。



問い合わせ

復興企画部 被災者支援・定住推進課

TEL 0244-24-5223

8/14 火

高機動ロボットの落下実験が行われました

宇宙エレベーター協会は、原町区萱浜の福島ロボットテストフィールドで、約40～50メートルほどの高さからロボットを落下、軟着陸させる実験を行いました。

同協会によると、高機動ロボットの落下実験は世界初とのことです。

同協会は、赤道上に長さ約10万キロのケーブルを建てて昇降機（クライマー）を取り付け、宇宙と地球との間で人や物資を行き来させる「宇宙エレベーター」の実現を目指しています。

実験では、ロボットを取り付けたクライマーが、気球とつないだケーブルを伝って約40メートルの高さまで登りました。そしてロボットを分離・落下させて、軟着陸した後に動くことができるかどうかを試しました。

実験は無事成功し、関係者から拍手があがりました。



© City of Minamisoma

平成30年度 敬老祝金支給のご案内

8月15日HP更新

市では、下記のとおり敬老祝金を贈ります。

なお、震災などの影響で、市外に避難している方もいるため「口座振込」で支給します。

対象となる方には「敬老祝金受領に係る口座振込依頼書」を9月上旬に発送しますので、必要事項を記入し、返送してください。

対象

平成30年9月15日現在、市内に住所を有する77歳と88歳の方
ただし、平成30年9月14日以前に転出または死亡した方および平成30年6月16日以後に転入した方は、対象になりません。

対象者	対象者の生年月日	金額
77歳	昭和15年9月17日から 昭和16年9月16日生まれ	1万円
88歳	昭和4年9月17日から 昭和5年9月16日生まれ	



問い合わせ

長寿福祉課
小高区市民福祉課
鹿島区市民福祉課

TEL 0244-24-5239

TEL 0244-44-6413

TEL 0244-46-2114



みなみそうまチャンネル

南相馬市



電話でのお問合せ

TEL:0244-26-5663

(平日のみ 午前9時～午後5時)

今週の番組 60分 ※パソコン視聴

番組内容 [8/22～8/29]

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 平成30年度相馬野馬追
灼熱の決戦！雲雀ヶ原7月29日：本祭り [30分]
3. 市長の部屋へようこそ！
ベトナム・フンドン大学 市長表敬訪問 [6分]
4. 今こそ南相馬から恩返しを！～平成30年7月豪雨災害派遣～ [15分]
5. 野馬追の里健康マラソン大会参加者募集 [4分]
6. リクエストアワーのお知らせ [1分]



みゆーまくん

市民の内部被ばく検診(平成29年10月1日から平成30年3月31日)結果

8月10日HP更新

- 1.検査時期: 平成29年10月1日～平成30年3月31日
- 2.受診者: 南相馬市民 4,320人 (大人 924人、子ども 3,396人)
- 3.検査機器: キャンベラ社製WBC(南相馬市立総合病院)および日立アロカ社製WBC(医療法人伸裕会 渡辺病院(渡辺クリニック))を使用し、セシウム134および137に由来する放射線を測定しました。
機器の器械的測定検出限界は、約4Bq/kg(体重)です。
今回の結果は、南相馬市立総合病院および渡辺クリニックでの測定結果をまとめて集計しています。

検査結果の総括

今回は、平成29年10月から平成30年3月末までの検査結果に基づいた南相馬市民の体内被ばく危険度についての委員会見解を報告します。

1. 体内に放射性セシウムを取り込んでいる方の割合は、大人・子ども共に非常に低い状況です。
現在、南相馬市では、汚染食品などの摂取による内部被ばくのリスクは、非常に低く抑えられていることが分かります。
2. 食べ物の調達方法で、ほとんどの項目で産地を選ばない方が多くなっていることから、県内産の食べ物への不安が軽減されてきていることが考えられます。
これまでのWBCによる体内汚染の検査結果から見ると、通常の流通食品を食べる生活を続けていけば、内部被ばくは、十分に低く押さえられることが判明していますが、水や食品汚染に不安を持つ方もいるため、今後も引き続き積極的な情報提供を行います。
3. 南相馬市では、市民の健康を守るために、今後も内部被ばく検査をはじめとした事業を実施し、市民の内部被ばくを減らすための活動を続けていきます。市民の皆さまは、自分の健康を守るために積極的に受診してくださるようお願いいたします。

南相馬市長

門馬 和夫

南相馬市放射線健康対策委員会

委員長 京都大学名誉教授

渡邊 正己

委員 東京工業大学放射線総合センター准教授

富田 悟

委員 南相馬市立総合病院医師

坪倉 正治

委員 福島県立医科大学副センター長

宮崎 真

問い合わせ

健康づくり課 放射線健康調査係

TEL 0244-24-5381

検診結果を添付しました。

※南相馬市の世帯

乳幼児専用WBC（通称:ベビースキャン）による被ばく検診結果

（平成29年6月6日～平成30年2月27日）

8月10日HP更新

- 1.検査時期： 平成29年6月6日～平成30年2月27日
- 2.受診者： 南相馬市民（6歳以下乳幼児）490人
- 3.検査機器： キャンベラ社製乳幼児専用WBC 通称:ベビースキャン（南相馬市立総合病院）
- 4.検査結果： 今回検査を行った、乳幼児490人全員からは、放射性セシウムは検出されませんでした。
今現在の南相馬市で生活をする上で、慢性的な内部被ばくが非常に低く抑えられていることを示しています。
（検出限界は従来のWBCよりも低い 50Bq/bodyです。）

検査結果の総括

アンケート結果から、依然として、水や食物に不安を持っている方がいますが、現状では、どの乳幼児からも放射性セシウムは検出されておらず、流通食品、検査済みの地元食品の汚染リスクは十分に低い状況が維持されていると考えられます。水に関しても同様です。市の農産物検査結果や自家用消費食品など検査結果は、市ホームページの「放射線モニタリング結果」に掲載しています。

今後も各種放射線検査の実施や検査結果の公表を行い、市民の皆様へ確かな情報をお知らせするとともに、継続的なWBC検査、被ばくに対する健康フォローの強化を行っていきたいと考えております。

南相馬市長

門馬 和夫

南相馬市放射線健康対策委員会

委員長	京都大学名誉教授	渡邊 正己
委員	東京工業大学放射線総合センター准教授	富田 悟
委員	南相馬市立総合病院医師	坪倉 正治
委員	福島県立医科大学副センター長	宮崎 真

問い合わせ

健康づくり課 放射線健康調査係

TEL 0244-24-5381

検診結果を添付しました。

※南相馬市の世帯



浪江町からのお知らせ

浪江町内の生活ごみの回収について（帰還困難区域を除く）

8月16日HP更新

浪江町内（帰還困難区域を除く）から出た生活ごみの回収は、震災前と同じ双葉地方広域市町村圏組合で行っています。

指定のごみ袋以外で出したごみは回収されませんので、ご注意ください。

生活ごみ回収日

- 燃えるごみ 毎週月曜日・木曜日
- 燃えないごみ 毎月第2火曜日
- 資源ごみ
 - カン類 毎月第2火曜日
 - ビン類 毎月第4火曜日
 - ペットボトル・プラスチック容器包装 毎週金曜日

※回収日が祝日の日も回収しますが、12月29日から1月3日は回収しません。

生活ごみの分け方

燃えるごみ

衣類、硬質プラスチック製品（バケツ、文房具、おもちゃなど）使い捨てカイロ、革製品（金属部分は取り除いたもの）、生ごみ、履物、除湿剤、リサイクルマークが付いているもので汚れのひどいものなど

- ①資源ごみ、燃えないごみが混ざっていないか確認してください。
- ②生ごみはできるだけ水を取ってください。
- ③食用油は、油処理剤等で固めて出してください。



乾電池やボタン電池は、レジ袋等へ入れて**乾電池**と明記して出してください。



燃えないごみ

調理器具（フライパン、鍋など）、食器、ガーデニング用品、小型家電（炊飯器、アイロン、カメラなど）スプレー缶（穴をあけ、ガス抜きをしてください）など

- ①資源ごみ、燃えるごみが混ざっていないか確認してください。
- ②袋に入らないごみは、粗大ごみになります。
- ③刃物や割れたガラスなどの危険なものは、紙などに包んで中身を明記して出してください。
- ④蛍光灯は、割らないで出してください。
- ⑤ガスカートリッジ、スプレー缶は、必ず使い切り穴を開けて出してください。



次ページへ続きます

資源ごみ

ビン類



割れているものでもかまいません(紙などで包んで出してください)。

- ①ビンの中を軽く水洗いしてください。
- ②ビンの金属キャップはカン類の袋へ入れてください。
- ③付着物や油の付いているビン、強化ガラス類は燃えないごみの袋へ入れてください。

カン類(アルミ・スチール)



マークの付いているカンに限ります。

- ①カンの中を軽く水洗いしてください。
- ②カンはつぶさないで出してください。
- ③付着物や油の付いているカンは燃えないごみの袋へ入れてください。



ペットボトル



マークの付いているPET ペットボトルに限ります。

- ①ラベルやキャップは燃えるごみの袋へ入れてください。
- ②ボトルの中を軽く水洗いしてください。
- ③ボトルはつぶさないで出してください。



プラスチック製容器包装

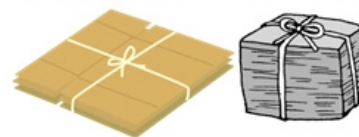


マークの付いたもので、商品を包んでいたプラスチック製の容器や包装物

- ①汚れているものは、軽く水で流すか、紙などでふき取ってください。
- ②袋の中身は分別しますので、2重に袋に入れないようにしてください。
- ③付着物や油の付いている容器や包装物は燃えるごみ用の指定袋を使用してください。



●新聞・雑誌・段ボール



ひもで十字に結び、町内のリサイクルハウスへ出してください。

粗大ごみ

環境省による粗大等の無償個別回収をご利用ください。

廃棄せざるを得なくなった家財(家具・家電など)、伐採した枝木などの回収を希望する方は、双葉運輸株式会社コールセンターに電話またはFAXでお申し込みください。

■受付期限 **平成31年3月19日(火)** (最終受け付けとなります。)

○申込先

双葉運輸株式会社

電話: **0120-465-175** (平日午前8時～午後5時 土・日・祝日などは除く)

FAX: **0120-460-232** (終日申し込み可能)

○問い合わせ先

環境省福島地方環境事務所浜通り北支所(廃棄物担当)

電話: **0244-26-9912**

※ 粗大ごみなどをごみステーションに出しても回収されませんので、個別回収をご利用ください。

次ページへ続きます

指定ごみ袋販売先

○まち・なみ・なるしえ内

- ・渡辺政雄家具店ホームセンター部(定休日:土曜日、日曜日、祝日)
- ・リラクア(無休)
- ・ローソンS浪江町まち・なみ・まるしえ店(定休日:日曜日)

○ローソン浪江町役場前店(定休日:日曜日)

○ローソン浪江下加倉店(無休)

問い合わせ

住民課 除染環境係

TEL 0240-34-0228

浪江町民の避難状況 (平成30年7月31日現在)

【都道府県別】(福島県外)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	56	静岡県	52	長崎県	10
青森県	46	愛知県	42	熊本県	6
岩手県	37	三重県	6	大分県	5
宮城県	899	滋賀県	5	宮崎県	10
秋田県	47	京都府	33	鹿児島県	7
山形県	136	大阪府	65	沖縄県	15
茨城県	990	兵庫県	20	国外	11
栃木県	487	奈良県	5	合計	6,241
群馬県	144	和歌山県	-	(前月 6,243)	
埼玉県	674	鳥取県	-		
千葉県	569	島根県	6		
東京都	852	岡山県	21		
神奈川県	412	広島県	10		
新潟県	359	山口県	1		
富山県	16	徳島県	1		
石川県	26	香川県	5		
福井県	8	愛媛県	9		
山梨県	42	高知県	5		
長野県	52	福岡県	19		
岐阜県	16	佐賀県	4		

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	2,702	南会津町	10	小野町	12
会津若松市	207	北塩原村	2	広野町	44
郡山市	1,819	西会津町	2	楢葉町	17
いわき市	3,267	磐梯町	4	富岡町	4
白河市	242	猪苗代町	26	川内村	5
須賀川市	148	会津坂下町	19	浪江町	567
喜多方市	24	金山町	1	葛尾村	2
相馬市	458	会津美里町	9	新地町	84
二本松市	1,155	西郷村	150	その他	3
田村市	77	泉崎村	5	合計	14,333
南相馬市	2,079	中島村	1	(前月 14,333)	
伊達市	110	矢吹町	32		
本宮市	515	棚倉町	6		
桑折町	156	塙町	2		
国見町	27	鮫川村	4		
川俣町	70	石川町	7		
大玉村	167	玉川村	1		
鏡石町	9	平田村	1		
天栄村	1	古殿町	1		
下郷町	4	三春町	75		

避難者総数

20,574

(前月 20,576)

浪江町HP「つながろう なみえ」から

本庁舎にジオラマを展示しています

浪江町棚塩産業団地の「福島水素エネルギー研究フィールド」建設工事が着工されました。この施設は2020年7月の本格運用に向けて、需要に応じて水素を効率的に製造できるシステムを構築していきます。

ここで製造された水素は東京オリンピック・パラリンピックでの活用が見込まれ、浪江町がクリーンエネルギーの先進地として国内外へ発信することで、復興まちづくりの目指す姿へとまた一歩近づきます。

現在、浪江町役場本庁舎1階に完成イメージの模型を展示しています。



県外避難者の受入状況

■市町村把握分

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
新潟市	1,094	燕市	62	聖籠町	8
長岡市	224	糸魚川市	3	弥彦村	7
三条市	81	妙高市	6	田上町	-
柏崎市	595	五泉市	22	阿賀町	-
新発田市	169	上越市	51	出雲崎町	2
小千谷市	17	阿賀野市	31	湯沢町	11
加茂市	9	佐渡市	29	津南町	-
十日町市	19	魚沼市	9	刈羽村	37
見附市	22	南魚沼市	11	関川村	-
村上市	75	胎内市	46	粟島浦村	-
合 計		2,640			

(6/30 2,646)

7月31日現在

区 分	人数
1 公営住宅・雇用促進住宅等	66
2 借上げ仮設住宅	260
3 賃貸住宅・持家・親戚知人宅等	2,314
1+2+3 (市町村把握分)	2,640
4 病院	0
5 社会福祉施設	14
合 計	2,654

(6/30 2,660)

問い合わせ

震災復興支援課 広域支援対策室

TEL 025-282-1732



双葉町からのお知らせ

「ふたばワールド2018 in なみえ」のお知らせ

8月22日HP更新

福島県内外に避難している双葉郡8町村の皆さんの再会・交流の機会を創出し、ふたばの人と人・人と地域を再び繋ぎ、「ふるさとふたば」の復興を目指したイベントとして開催されている「ふたばワールド」。今年は浪江町で開催されます。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

とき

9月29日(土) 午前10時～午後3時(雨天決行)

ところ

浪江町地域スポーツセンター(浪江町権現堂字下馬洗田5-2)

※ 会場には駐車場スペースがありませんので、車でお越しの方はチラシに記載しました駐車場をご利用ください。



イベント内容(予定)

- ・ステージパフォーマンス(地域の伝統芸能、ふたば復興応援ライブほか)
- ・来場者体験工房(来場者無料体験型企画)
- ・ふたば地方なう。(関係機関・団体の取組展示、PR)
- ・ふたばの“大鍋”プロジェクト(1,000食無料配布)
- ・ふたば地方復興商店街(双葉地方の商工業者などによる飲食・物販)
- ・美味しいふたば発信(双葉郡内の食材などの情報発信)
- ・うけどんパーク(スポーツアトラクション、キッズアトラクションほか)
- ・うけどんスタンプラリー(回遊・交流促進のスタンプラリー、交流ボードほか)
- ・来場者バスツアー『ふたばへGo!!』(県内外発着の無料送迎バス)

双葉町及び関連団体の出演・出展(予定)

- ・ふたば伝承隊(ステージ)・・・JAスマイル:大正琴
- ・ふたば地方なう。(展示・PR)・・・双葉町:復旧・復興資料展示やステンシルアート体験会など

入場料

無料

問い合わせ

「ふたばワールド2018」実行委員会事務局

TEL 024-529-7187

双葉町HP「ブログふたばのわ」から

2020年再開へ「双葉駅」起工式

8月6日(月)、JR常磐線双葉駅の起工式が行われました。朝から生憎の雨模様となりましたが、多くの関係者が見守る中、今後の工事の安全祈願などが行われました。

本工事は、JR東日本水戸支社と双葉町が施工協定を締結し、常磐線双葉駅橋上化および自由通路が新設されるものです。



提供：JR東日本水戸支社



式では、吉野正芳復興大臣などによる鍬入れが行われ、関係者からのあいさつがありました。伊澤史朗町長からは「約2年を目途に(JR常磐線)再開通ということで、双葉町の復興のスタートになる大切な事業だと考えている。」とあいさつがありました。



双葉駅は帰還困難区域内にありますが、町の「特定復興再生拠点」の中核に位置しており、今後、駅の東西を結ぶ自由通路と一体的に整備される予定になっています。

新「双葉駅」の設計コンセプトは「おもてなし・つなぎ・にぎわいを生む駅」としています。光を取り込む広い窓や、温かみを感じる色合いのルーバーにより、明るく安らぎのあるおもてなしの空間を表現。

また、自由通路の整備により、東西のまちをつなぎ、人をつなぐ、一体感を生む駅を形成。これからの双葉町のコミュニティの核となり、町の拠点となる駅を目指しているそうです。

会場に飾られていた完成イメージを見ましたが、清潔感がありながら、双葉町の自然と一体化していて町のイメージを崩すことのないきれいな駅舎でした。

町では2020年3月末までのJR常磐線の全線開通に合わせた新双葉駅の供用開始と、駅周辺の一部の避難指示を先行解除することを目指しています。

(双葉町復興支援員 小松)

双葉町HP「ブログふたばのわ」から

【ありがとうメッセージPick Up】#019 避難時に支えてくれた友人への感謝

震災当時、大熊町の高校で美術講師をしていた前田香織さん。

先が見えない避難生活の不安を和らげてくれたもの。それは、服や家財道具の手配、仕事の紹介など、親身になって動いてくれた東京に住む友人でした。

イラストレーターでもある前田さんは、震災後にアーティストの皆さんが行っていた支援活動にも注目していました。憧れのアーティストの皆さんの取り組みに胸が打たれたと当時の思いを話します。

大変な時期を支えてくれたご友人などへの感謝のメッセージ。ぜひご覧ください。

▶ <https://youtu.be/C5THIFG0JN0>



【ありがとうメッセージPick Up】#020 悲しみを乗り越えるまで支えてくれた方々への感謝

東日本大震災で大切な人を失った方は少なくありません。

関根茂子さんもそのお一人です。

大切な人を失い、故郷を追われ、関根さんはしばらくの間、無念な気持ちに苛まれていました。その関根さんの心の傷を埋めてくれたのはご家族や近隣住民、そしてボランティア団体の皆さんでした。

関根さんが立ち直るまで支えてくれた全ての人に対する感謝の想い。ぜひご覧ください。

▶ <https://youtu.be/3QV1tFKepek>



常磐線双葉駅橋上化および 自由通路新設工事の着手について

7月20日

東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

JR東日本水戸支社は、双葉町と施行協定を締結し、常磐線双葉駅橋上化および自由通路の新設工事に着手することになりました。

設計コンセプトは「おもてなし・つなぎ・にぎわいを生む駅」としています。光を取り込む広い窓や、温かみを感じる色合いのルーバーにより、明るく安らぎのあるおもてなしの空間を表現します。また、自由通路の整備により、東西のまちをつなぎ、人をつなぐ、一体感を生む駅を形成します。

これからの双葉町のコミュニティの核となり、町の拠点となる駅を目指します。

1. 施設の概要

【鉄道施設】約370㎡

地上2階 コンコース、駅事務室

ホーム：階段1カ所

※エレベーター1基（13人乗り）

【都市施設】約730㎡

自由通路 幅員 約4m 延長 約46m

東口駅前広場：階段1カ所、エレベーター1基（13人乗り）

西口駅前広場：階段1カ所、※エレベーター1基（13人乗り）

※【鉄道施設】のホームエレベーターと【都市施設】の西口駅前広場エレベーターは併用



2. 供用開始 2020年春頃



完成イメージ提供：JR東日本 水戸支社



8月・9月の『ひばり』

日	月	火	水	木	金	土
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 気軽に参加ください。				8月23日	24日	25日
				ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
26日	27日	28日	29日	30日	31日	9月1日
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
		ひばり休み	茶話会	ひばり休み 浜通り配布		ひばり休み

問い合わせ

交流ルーム ひばり
(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[運営時間] 日・水・金 午前10時～午後2時
月 午前10時～正午

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-22-2111	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
浪江町	0240-34-2111	
双葉町	0246-84-5200	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数と人数(2018.8.22現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	20	50
原町区	4	7
南相馬市 計	24	57
浪江町	3	11
双葉町	1	3
郡山市	4	9
合 計	32	80

(▲1 ▲1)

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511